北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第３０条の３に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。
Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name：　ダムヒョウチ　　役職 / official position：　教授

1. 研究テーマ / Research Theme
心と体のあいだで知を探る: 私たちは経験を通して体で覚える知識に関心があります。特に「技」と呼ばれるものに注目しており、その特徴と習得過程を明らかにしようとしています。
2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.
系統的に問題に取り組む方法。現象を観察して正確に記述する能力、その中から重要な点を見つけ出す能力、気づいた点を他の人にわかりやすく説明する能力。そこにはデータを収集して解析し、結果をわかりやすく提示することも含まれます。言葉にしにくいことに形を与えるのが我々の仕事であり、把握しづらい現象に対して着実にアプローチしていく方法を学びます。
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
ゼミ等は授業期間中、週に 1 度実施し、毎回 1 名か 2 名の担当者が研究の進捗状況を報告したり、興味のある論文の内容を解説したりしています。留学生もいるので言語は日本語と英語の両方を用い、適宜、発言内容を翻訳することで全員参加出来るよう工夫しています。質問の仕方、議論の仕方を学ぶのが主たる目的です。個人指導が中心であり、必要に応じて面談しています。研究の進捗状況にもよりますが頻度は月に 1 回から 4 回程度となることが多いです。研究テーマやアプローチは本人の考えや個性を尊重しています。
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
□日次活動 / Daily Activities： □週次活動 / Weekly Activities： 個別ミーティング（週 3 回）、研究報告会、ゼミ（週 1 回）、関連研究の勉強会（週 1 回） □月次活動 / Monthly Activities： 個別ミーティング（月 1 回から 4 回） □不定期活動 / Occasional Activities： 研究室集会、技術勉強会、発表練習会
5. 年間スケジュール / Annual Schedule 本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。（本学HP 参照：ホーム＞教育＞履修関係＞履修案内） Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)
4 月は新入生を主たる対象として生活や勉学が軌道に乗るよう支援します。以降は学年により異なりますが、新入生の場合、7 月までに興味のあることをゼミで話してもらっています。その後、１２月までの半年間で徐々に研究計画を具体化してもらいます。並行して発表機会を設け、発表や質疑応答の作法を身につけてもらいます。翌年 1 月から研究計画書の書き方を学んでもらいます。３月までに研究の目的と方法を具体化してもらいます。二年生は二年目の 4 月に研究を本格化させ、データ収集と分析を実施してもらいます。一度の実験では大抵うまくいかず三回くらい実験をすることとなります。１２月にはデータ

が整い、分析が明確になるので修論執筆に取りかかります。以降、修了まで修論執筆と発表練習に専念することとなります。